

道徳のかけ橋

平成30年9月19日発行
第 1 8 号
福 島 県 教 育 庁 課
義 務 教 育 課

道徳科の指導と評価の一体化について研修を深めました。

7月30日の会津地区を皮切りに、県内7地区において、小中学校・義務教育学校、特別支援学校の管理職、道徳教育推進教師等（各校1名悉皆）を対象に、「特別の教科 道徳」の実施に向けた地区別研修会を開催しました。今年度の研修会では、通知票に記載する道徳科の評価を演習に取り入れながら、「道徳科の指導と評価の一体化」をテーマに行政説明を行いました。演習を通じて、道徳科の評価の留意点が分かってきました。



【道徳科の評価記入上の留意点】

学びの事実を基に、飛躍させず、盛り込みすぎず、比較せず、分かりやすく、行動の記録と区別して、文章で記述する

先生方が演習で記述された小学校高学年の通知票に記載する評価の中から、代表的な事例を掲載します。小学校では、御自身の学校で行われている評価と比べながら、子ども一人一人を受け止めて認め、励ます評価について、より一層充実できるように参考にしていただければ幸いです。中学校では、次年度からの全面実施を見据え、指導と評価の基本的な考えを全教職員で共通理解するとともに、保護者への周知等を計画的に進めていただくよう、お願いします。

- 「親切・思いやり」や「自然愛護」について考える授業では、友だちの発言にうなずきながら共感して聞いたり、根拠に基づいて自分の意見を発言したりしていました。友だちと考えを交流する中で、友だちの考えをもとにさらに深く考え、自分の考えを書いてまとめることができました。その考えについては、道徳ノートをご覧いただいで、ご家庭での話題にさせていただければと思います。
- 「○○○」では、登場人物の役になりきって、くじけず最後まで努力することの大切さを表現しました。最後までがんばるためには、周りの応援も必要であることに気付くことができました。
- 「○○○」の授業では、友達の発言にうなずきながら、熱心に耳を傾ける姿が見られました。話し合いを通して、きまりを守ることの大切さを理解し、これからの学級生活に生かしていこう、という意欲が高まりました。
- 「○○○」の授業では、親切・思いやりの大切さについて考えました。友だちとの話し合いを通して、本当の思いやりとは、相手の気持ちを大切にしながら、自分にできることを行うことだと気付くことができました。
- 「○○○」の授業では、人間も自然界の一員であることを忘れてはならないという意見を持ち、自然愛護について自分事として考えることができました。友だちの意見を聞いて、自分の考えをさらに深めようとする積極的な姿勢が見られました。
- 道徳の授業では、規則や友情、国際理解など、様々なテーマについて学び、自分の考えを発表できるようになりました。友達の考えをよく聞き、意見を交換する中で、自分のことだけでなく、相手のこともよく考えて問題の解決に臨む姿が見られます。
- 「○○○○○」の授業では、自分の考えと友だちの考えを比べたり、自分だったらどうするかを考えたりする活動を通して、最後まであきらめずに取り組むことの難しさを感じていました。

本年度の各地区の道徳教育推進校を紹介します。

平成30年度 各地区道徳教育推進校

- 〔県 北地区〕 福島市立福島第四中学校
- 〔県 中地区〕 郡山市立大島小学校
- 〔県 南地区〕 中島村立吉子川小学校
- 〔会 津地区〕 会津美里町立本郷中学校
- 〔南会津地区〕 南会津町立舘岩中学校
- 〔相 双地区〕 福島県立相馬東高等学校
- 〔いわき地区〕 いわき市立江名小学校

県内7つの小・中・高等学校を道徳教育推進校とし、地域に根ざした道徳教育の推進とその研究を進めています。現在、この7つの推進校を、各地区の道徳教育推進の「要」として、道徳地区別推進協議会をはじめとして、授業の研究公開や講演会等を積極的に行っております。

なお、推進校には、「道徳教育推進報告書」を作成していただき、各学校にお届けするとともに、義務教育課ホームページにも掲載し、皆様に発信する予定です。

Q 道徳科の評価作成上の留意点「学びの事実を基に、飛躍させず、盛り込みすぎず、比較せず、分かりやすく、行動の記録と区別して文章で記述する」について、具体的に教えてください。

キーセンテンス	研修会を通じて分かったこと、話題になったこと
「学びの事実を基に」	なぜそう書いたか、根拠が大切です。「児童生徒の発言」や「学習の様子」「ワークシートやノートへの記述」等を記録・累積しておくことが大切です。
「飛躍させず、盛り込みすぎず」	記録しておいた「発言」や「学習の様子」「ワークシートの記録」といった根拠を曲解して記述したり、数多くの根拠を記述しすぎたりすると誤解を生じ、伝わりにくくなります。
「比較せず」	「誰よりも優れています」といった表現は、一見最大の褒め言葉に感じますが、個人内評価の基本的な考え方からはふさわしくありません。同様に、「以前より理解できるようになった」という表現も誤解を招く恐れがあり、気を付けなければならない表現です。
「分かりやすく」	「道徳的価値の理解」「道徳的判断力の高まり」といった専門用語は、児童生徒や保護者には分かりづらい言葉です。児童生徒や保護者の目線に立って、分かりやすい表現をこころがけたいものです。
「行動の記録と区別して」	あくまでも「道徳科」としての授業の評価です。行動に表れている道徳性の記述は、「行動の記録」に記述しますので、明確に区別してください。

以上の考えを基本としながら文章表現で記述します。各学校において、どのように記述するか教職員で共通理解を図りながら、児童生徒一人一人を受け止めて、認め、励ます評価の具現化をお願いします。

Q 道徳科の授業における「評価の視点」や「その視点から見取ることができる児童生徒の姿」はどのようなものが考えられますか。

道徳科の授業における児童生徒の評価について

どのような評価の視点が考えられるか。

一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか。

- ・ 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やその時の心情を様々な視点から捉え、考えようとしている。
- ・ 自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている。
- ・ 複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行為を多面的・多角的に考えようとしている。 など

道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか。

- ・ 読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている。
- ・ 現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直していることがうかがえる部分に着目している。
- ・ 道徳的な問題に対して自己の取り得る行動と他者と議論する中で、道徳的価値の理解を更に深めている。
- ・ 道徳的価値の実現することの難しさを自分のこととして捉え、考えようとしている。 など

授業案への位置付けはもちろん、日常の授業に明確に位置付けることが大切です。このような視点を参考にしながら記述し、しっかりと子どもの姿を見取りたいものです。



道徳科の授業における児童生徒の評価について

どのような児童生徒の姿が想定されるか

一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか。

- ・ ねらいとする道徳的価値の様々な面を考えている。
- ・ 道徳的価値を支える様々な根拠を考えている。
- ・ 様々な登場人物の立場で考えている。
- ・ 自分の考えと友だちの考えを比べて考えている。
- ・ 時間の経過とともに変化する気持ちを考えている。
- ・ 人間の強さや弱さ等を捉えて考えている。 など

道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか。

- ・ 読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考えている。
- ・ 教材の問題点等を自分事として受け止めて考えている。
- ・ 日常生活や学校生活等を想起しながら考えている。
- ・ 自分の生活を見つめ、振り返りながら考えている。
- ・ 自分だったらどうするかなど考えている。 など

この姿は、あくまでも想定です。このような姿を目安にしながら子ども一人一人の素敵な学びの姿をたくさん見取り、通知表や指導要録に記載したいものです。

